

離転職者等職業訓練「応用情報科」募集案内 訓練生募集

県立和歌山産業技術専門学院では、下記のとおり訓練生を募集しています。
受講を希望される方は、住(居)所地管轄のハローワーク窓口までご相談ください。

◇訓練科目「応用情報科」(長期高度人材育成コース)
◇訓練施設 和歌山コンピュータビジネス専門学校 太田校舎
和歌山市太田4丁目5-5
(和歌山県知事認可 IPA 講座認定校) TEL 073-474-0200
訓練コース番号: 5-08-30-207-02-0064

1. 訓練期間 令和8年4月1日(水)から令和10年3月31日(金)〈2か年〉
(予定) ※訓練修了日は令和10年3月31日より早くなる場合があります。
 2. 募集定員 7名
 3. 対象者 下記のすべての項目に該当する方
 - ①公共職業安定所長から受講あっせんを受け、IT関係への就職を目指す方
 - ②概ね55歳未満の者(ただし、55歳以上の者であっても、以下③~⑥の要件を満たす場合は、当該求職者の状況に応じて対象者となる場合があります。)
 - ③有期労働契約などによる非正規雇用労働者など、就業経験において不安定就労の期間が長いことや、安定就労の経験が少ないことにより能力開発機会が乏しかった方又は出産・育児等により長期間離職していた女性等
 - ④国家資格等高い知識及び技能を習得し正社員就職を希望する方
 - ⑤当該訓練コースを修了し対象資格等を取得する明確な意思を有する方
 - ⑥ハローワークにおける職業相談においてジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングにより当該訓練の受講が必要と認められる方
 - ⑦高等学校卒業または、同程度の課程を修了していることが必要です。
[高等学校等の卒業を証する書面が必要。大学卒業証書でも代用可能]
 - ⑧令和8年3月大学・高校等卒業予定者は対象としません。
 4. 訓練経費 ・無料。ただし、教科書代、ソフト使用料等、検定料等の費用は自己負担とします。
(2年間で200,000円程度)
 5. 募集期間 ・令和8年2月9日(月)から令和8年3月16日(月)まで
・住(居)所地を管轄するハローワークでご相談のうえ、入学願書にて所定の手続きをしてください。
※入学願書の申し込みとは別に「和歌山コンピュータビジネス専門学校の入学願書等」に高等学校の卒業を証する書面(卒業証書のコピー・卒業証明書等)を添えて直接和歌山コンピュータビジネス専門学校に、令和8年3月16日(月)までに提出する必要があります。
 6. 選考 ・令和8年3月19日(木)に和歌山コンピュータビジネス専門学校においてSPI(筆記試験)・面接による選考を行います。
(受付9:30~9:55 選考開始10:00~)
 7. 訓練時間等 原則 月曜日~金曜日(土、日、祝日休み) 1日6時間程度
訓練施設のカリキュラムにより、土・日・祝日も訓練を行なう場合有。
 8. 通学 和歌山コンピュータビジネス専門学校では、マイカーによる通学も可能ですが、学内駐車場は使用できません。公共交通機関、バイクや自転車利用の通学を推奨しています。
 9. 訓練概要 ・国家資格「応用情報技術者試験」の取得を目指すコースです。
・パソコンの基礎から、システムエンジニアやプログラマーとしての就職に必要なコンピュータの設計やソフトウェア開発の知識スキルなどの幅広い知識・技術を身に付けます。
 10. 取得目標とする資格 ・応用情報技術者試験
 11. その他 ・令和8年度和歌山県予算が成立しなかった場合、又は厚生労働省との協議が整わなかった場合、本事業は実施しません。また、定員数に関し厚生労働省との協議で変更となる場合があります。
- ※休学や留年の制度の適用はありません。
進級試験に合格できない場合や、単位不足で進級できない場合等、学校が定める要件により、令和10年3月までに修了が見込めないことが明らかになった時点で退学となります。
※一定の要件を満たす方は「求職者支援制度」により「職業訓練受給給付金」の支給等を受けることができます。詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。

問い合わせ先
和歌山県立和歌山産業技術専門学院 総務課
和歌山市小倉90 TEL 073-477-1253

委託訓練カリキュラム(2年間)

| | | | | | |
|---------------|--|--|------------|--------------------------------|-----|
| 訓練科目 | 応用情報科 | | 就職先の 職務 | プログラマー システムエンジニア | |
| 定 員 | 7名 | | | | |
| 訓練期間 | 令和8年4月1日 ～ 令和10年3月31日 | | | | |
| 訓練目標 | ITに関する専門知識及び技術を習得する 応用情報技術者試験に合格し、技術者としてIT業界に就職する | | | | |
| 取得目標 資 格 | 応用情報技術者試験 | | | | |
| | 科 目 | | 科 目 の 内 容 | 時間数 | |
| 訓練の内容 | 学 科 | 開講式・1年次オリエンテーション | | 学習ガイダンス・テキスト配布・PC設定など | 12 |
| | | SPI対策 | | SPI試験に関する対策 | 30 |
| | | eスポーツⅠ | | eスポーツを通してコミュニケーション・マネジメント能力を獲得 | 30 |
| | | ゼミⅠ | | 進路相談と就職活動のサポート | 15 |
| | | 教育モチベーション論 | | 学習することの意義の明確化を図る | 15 |
| | | ITパスポート基礎 | | ITパスポート試験対策 | 90 |
| | | キャリアデザインⅠⅡ | | 就職に関する全般的な学習とガイダンス | 60 |
| | | 資格試験対策Ⅰ | | IPAが実施する各種検定試験対策 | 90 |
| | | 地域研究 | | 地域の課題にITの視点でアプローチし解決を目指す | 15 |
| | | 基本情報技術者基礎 | | 基本情報技術者試験対策 | 60 |
| | | 修了式・2年次オリエンテーション | | 学習ガイダンス・テキスト配布等 | 8 |
| | | 資格試験対策Ⅱ | | 各種試験に応じた試験対策 | 120 |
| | | ソフトウェア開発管理 | | ソフトウェアの開発及び管理に関する知識 | 30 |
| | | ゼミⅡ | | 進路相談と就職活動のサポート | 30 |
| | | キャリアデザインⅢ | | 学内外に関する求人情報の案内と学内説明会 | 45 |
| | | 資格試験対策Ⅲ | | 各種試験に応じた試験対策 | 90 |
| | 小 計 | | | | 740 |
| | 実 習 | WebプログラミングⅠⅡ | | WEBプログラミングに関する基礎学習 | 60 |
| | | PythonⅠⅡ | | プログラミング言語Pythonの基礎知識 | 60 |
| | | デジタル表現入門 | | 3DCG等デジタル表現の基礎を学ぶ | 30 |
| | | MOSⅠ | | MicrosoftOfficeSpecialist対策 | 60 |
| | | デザイン入門 | | デザインに関する基礎を習得する | 30 |
| | | データベースⅠ | | データベースに関する基礎学習 | 30 |
| | | C#Ⅰ | | プログラミング言語C#の基礎学習 | 30 |
| | | サーバー演習Ⅰ | | Linuxをはじめとするサーバに関する基礎学習 | 30 |
| | | 作品実習 | | 年間の学習内容を活用した開発に取り組む | 30 |
| | | C#Ⅱ | | プログラミング言語C#の応用学習 | 30 |
| | | PythonⅢ | | プログラミング言語Pythonの応用学習 | 60 |
| | | WebプログラミングⅢⅣ | | WEBプログラミングに関する応用学習 | 60 |
| | | データベースⅡ | | データベースに関する応用学習 | 30 |
| | | サーバー演習Ⅱ | | Linux・AWS等サーバに関する応用学習 | 30 |
| | | Java | | プログラミング言語Javaに関する学習 | 30 |
| | | MOSⅡ | | MicrosoftOfficeExpert対策 | 60 |
| | | 卒業制作 | | これまでの学習内容を用いた最終課題作成 | 120 |
| | | 春期講習 | | 年間の学習内容を活用した開発に取り組む | 30 |
| | | クラウド演習 | | クラウドに関する知識・技術習得 | 30 |
| | 小 計 | | | | 840 |
| 合 計 | | | | 1580 | |
| 就職支援の具体的内容 | | キャリアデザインの授業で企業説明会を実施し、業界・業務内容について説明していただき、志望先企業を選定する。 就職活動状況に応じて、面接対策などの機会を設定し、希望する就職の実現を目指す。 必要に応じて随時面談形式でのサポートを実施する。 | | | |
| 使用する機械・器具・教材等 | | ノートパソコン・プロジェクター・スクリーン テキスト及び補助教材（オリジナルプリント等） | | | |